

北の農職家

KITA NO NOUSYOKUKA

2016

2

No.230



最上 田上牧場 田上貴志さん一家





J A 情報館

農業者と漁業者による 6次化を研究始まる



だいちとうみの会（網走川流域農業・漁業連携推進協議会）では、平成27年度から新たな取組として「6次化」に向けた商品開発を進めていく事が第4回総会で確認されました。これを受けて、昨年9月だいちとうみの会の他にカルビー北海道・普及センターの協力を頂き、「網走川をめぐる物語性」に重点をおいた「鮭と農産物」を結びつけたコンセプトで進める事を確認。1月22日網走漁協においてJAつべつ女性部・網走漁協女性部・西網走漁協女性部役員が一同に会し、6次化に向けた研究の第一歩となる研修会が行われました。研修では綾部専門普及員が道内6次化の取組事例を紹介されました。



中学2年生農業体験報告会

「農業作業の 大変さ実感」

津別町中学校（可児幹博校長）2年生を対象とした「農業体験学習」は、昨年6月「津別町農業の実態」について教室において授業が行われ、29名の生徒は畑作4戸と酪農2戸に別れ、作物の植付から収穫する畑作実習と搾乳作業から牛舎清掃する酪農実習を3回1日コースで行いました。10月には収穫したカボチャとオーガニック牛乳を使用した料理講習会を行い、一連の農業体験総仕上げとなる「農業体験報告会」は、12月14日中学校体育館において開催され、翌年度農業体験を行う1年生30名も参加して、生徒を受け入れた農家、林教育長、山下組合長や先生が見守る中6班の農業体験報告が行われました。



酪農では牛舎掃除から寝わら敷き、牛の餌を設置、ビートパルプ運搬、窓吹き掃除が行われ、畑作では南瓜芽かき作業から植付け、南瓜収穫、馬鈴薯収穫と大人でも大変な作業を体験。

酪農体験で、「牛は思った以上に大きく怖かった。普段できない牛の乳搾りや牛舎掃除朝早くから大変でしたが楽しかった」。畑作では「南瓜植えは腰をかがめ体が痛くなった。農家作業の大変さと作業のやりがいも感じました」など参加者全員がそれぞれ体験の思いを発表。

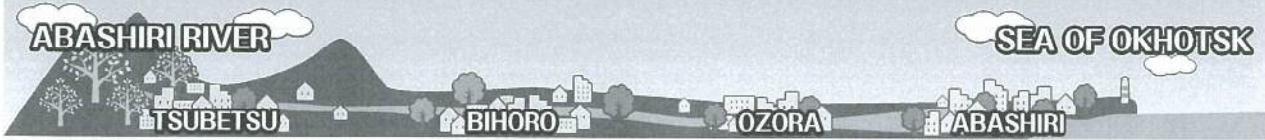
講評を求められた山下組合長は、「楽しく農業体験ができたと感じました」。「生きていく事は食べる事、毎日当たり前のように過ごしていますが、世界には食べられない子供達が9億人とされています。日本ではこのようにならないため、農家の皆さんが食料供給の使命感をもって働いています。農家仕事の大変さも感じて頂いたようですし、働いた後のおやつのおいしさも感じて頂きました。津別の農産物は、全国各地に送られて国民を支えている事、農業の大切さ、命の大切さも学んでいたのだと思います」と感想を述べました。

2年生全員が6班に別れ農業体験。酪農・畑作農業の様々な体験を通して感じた事をパワーポイントにまとめ一人ひとり感想述べてくれました。ジャージ姿の一年生は、先輩の報告を聞いて「2年生になって農業実習がとてましたの楽しみです」と感想を話してくれました。



だいちとうみの会

京都府「保津川流域環境保全活動を調査」



だいちとうみの会調査団、左より渡部貴聴氏、新谷哲章氏、山田照夫氏、清野一幸氏、今回のコーディネーター大阪商業大学経済学博士原田慎夫氏。

だいちとうみの会（網走川流域農業・漁業連携推進協議会）を代表する新谷哲章氏（網走漁協）、清野一幸氏（西網走漁協）、山田照夫氏（JAつべつ）、渡部貴聴氏（網走市役所）一行は、全国でも先進的に河川の環境保全の取り組みを行っている京都府保津川流域の活動に着目。先進的な取組を学び、昨年発足した「網走川流域の会」の活動に取り入れるため調査として1月6日から3日間視察が行われました。

以下、網走市役所渡部貴聴氏より報告を頂きました。

400年の歴史を持つ保津川

川下り船士から始まった環境保全

平成27年3月13日に網走川流域農業・漁業連携推進協議会（だいちとうみの会）が中心となり、網走川流域が育む文化や風土、豊かな海と大地の恵みを次世代に引き継ぐことのできる持続可能な地域協働による人・産業・自然が共生する流域社会の構築を目指すために網走川流域の1市3町の農協・漁協・森林組合・利水組合・行政・大学・企業・一般個人により「網走川流域の会」を立ち上げました。流域の会では平成28年より、独自の活動としてごみ拾いや環境教育など、流域の人々と、川とをつなぐ活動展開を検討しており、京都府にある保津川（桂川）流域での取り組みの視察を行いました。

保津川について

保津川（桂川）は、京都府中部を流れる淀川水系の一級河川です。延長107km、流域面積1159km²であり、丹波山地・佐々里峠に源を発し、広河原、花脊、京北、日吉を経て亀岡盆地を貫き、保津峡を越えたのちに、嵐山で京都盆地に出て、伏見で鴨川と、大山崎にて木津川、宇治川と合流し淀川となって大阪湾に注ぎます。

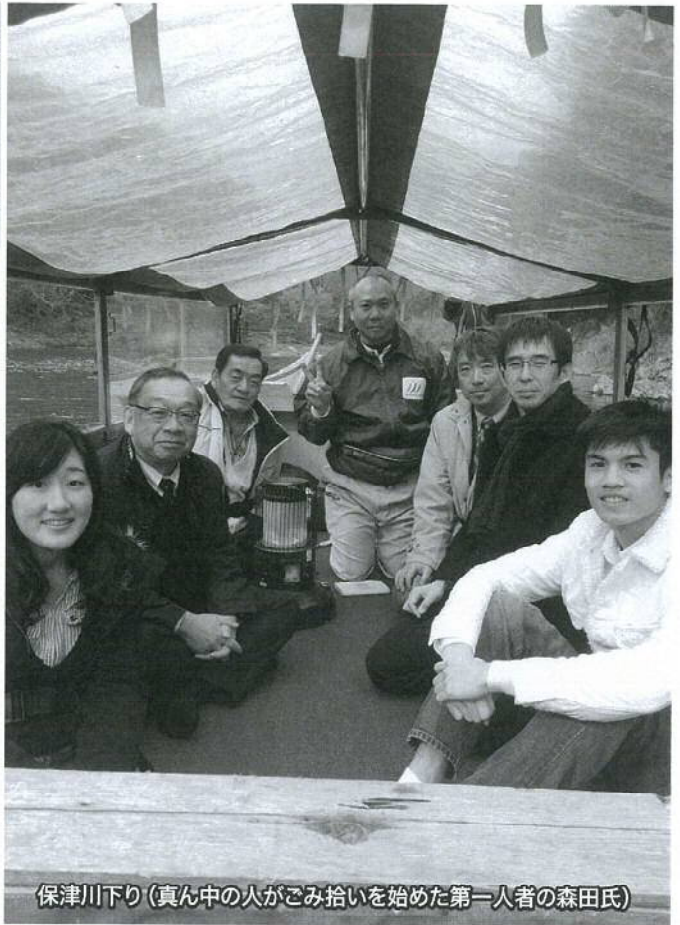
このうち亀岡市から嵯峨嵐山までの峡谷を、丹波の人は親しみをこめて「保津川」と呼んでいます。これは丹波国一宮である出雲大神宮（京都府亀岡市）に祀られる三穂津姫命の名前に由来するといわれており、長岡京や平安京造営、さら

に大阪城や伏見城の築城に際しては、現在の京都市右京区京北町をはじめとした丹波山地の木材を都に運ぶなど、その流れば丹波と山城、摂津の木材輸送に重要な役割を果たしてきました。



「プロジェクト保津川ヒアリング」を受ける一行

保津川の両岸は累々たる山、そしてその高峰に京の愛宕山（火の神を祀る）がそびえ、流れは激流あり深淵ありで、きわめて変化に富んでおり、河原には流れをさえぎるかと思われる大岩・奇岩巨石が点在、その一つ一つに趣があり、物語をもつて伝えられているとともに、春は桜、夏は岩つつじ、秋は紅葉、雪の峡谷となる冬と四季をつうじて非常に美しい景観が楽しめるため400年前から遊船（舟下り）が営まれており、河岸には船頭のさす竿の跡や下った船を上流に引き戻すための舟を人力で引きあげた綱の跡がところどころに見受けられるなど、舟下りの歴史が刻まれており、年間約30万以上の観光客が訪れています。



保津川下り(真ん中の人がごみ拾いを始めた第一人者の森田氏)

保津川クリーン作戦

このように美しい保津川ですが、上流からの大量に流れてくるゴミの問題に悩まされています。私達が今回保津川を訪れた理由は、全国的にも例を見ない住民参加型の河川清掃を毎月第3日曜日に必ず開催しており、現在までに91回(7年以上)も続いているためです。この取り組みの始まりは、保津川下りの船士(保津川では川下り船頭のことを「船士」といいます)でした。保津川下りの魅力は、美しい景観ですが、近年ペットボトルやレジ袋などが大雨のたびに大量に流れ着き美しい景観を台無しにすると共に、生物への影響も懸念されていました。こ

のような状態を恥ずかしいと感じた船士が中心となり、河岸のごみ拾いが始まりました。河岸にはペットボトルやスーパの袋からテレビやオートバイなどありとあらゆるゴミが散乱しており、一回のゴミ拾いで10トトラックがいっぱいになる事もあるそうです。当初数名であった取り組みは仲間を増やし2006年には船士で組織する保津川遊船企業組合の環境部門として「エコグリーン委員会」を設立し、行政や学校、各種団体と協同しながら清掃活動を実施するようになり、年間の清掃活動の参加者数は1000人を超えるようになりました。

NPO法人プロジェクト保津川

しかしながら、いくらごみを拾っても上流からのゴミが減る事はなく、根本的な問題解決のためには環境教育や啓蒙普及が必要であるとの認識に至り、大学や流域住民、各種団体、企業、行政がパートナーシップを形成し、環境保全を通じて循環型地域社会やまちづくりを目指すために2007年に「プロジェクト保津川」を設立しました。プロジェクト保津川の代表を務めるのは大阪商業大学経済学部で川や海のごみ問題の研究に取り組む原田禎夫教授です。プロジェクト保津川では川の清掃や環境教室、半世紀前に途絶えてしまった筏流しの復活など保津川の環境や歴史・文化を守り受け継ぐ取り組みが進められています。

今回の京都視察については原田先生にすべてコーディネートしていただきました。前述の活動はもとより、プロジェクト保津川の活動に以前から深く関わっているということで亀岡市の桂川孝裕市長への表敬訪問や、原田先生が非常勤講師を務められている同志社大学政策学部にてだいちとうみの会の取り組みについて新谷幹事長(網走漁協)、山田副幹事長(JA津別)、清野監査担当幹事(西網走漁協)の3名により講演する機会もいただきました。

保津川での住民と産業、行政、大学による協働の取り組みは網走川流域での取り組みに通じるところがあると感じまし

た。網走流域の会はまだ始まったばかりですが今回の視察から得たことを今後の活動に生かしていきたいと思えます。なお、今回の視察については公益財団法人はまなす財団様の補助金(地域づくりステップアップ事業)を活用して実施しております。



亀岡市長表敬訪問



同志社大学で網走川流域の取組を三氏が講演

年金友の会情報



— 年金友の会総会 —

- 開催日 平成28年2月16日～18日
- 開催場所 ニュー阿寒ホテル
- 参加費 一泊 7,500円
二泊 15,000円

年金友の会

第6回 囲碁大会



- 開催日 平成28年1月14日(木)
- 場所 JAつべつ 休憩室
- 参加者 11名
- 成績 優勝 伊藤 政義 (二段格)
準優勝 藤川 幸男 (初段)
3位 佐藤 忠 (二段)
4位 三島 宏章 (四段)
5位 下川 敏章 (四段)

年間通算成績

- 優勝 伊藤 政義 (二段格)
- 準優勝 下川 敏章 (四段格)
- 3位 佐藤 忠 (二段)
- 4位 三島 宏章 (四段)
- 5位 今井 保 (四段)

JAグループ 春の新車フェア

2016年1月1日(金)～3月31日(木)契約分まで

TOYOTA SUBARU MITSUBISHI SUZUKI の新車ご購入で、選べるプレゼント!

A ルクルーゼ
ココットロンド
20cm
(チタニウムレッドオレフィン)

B パナソニック
圧力ジョーナー
MJ-L500-S

C 象印
炊飯ジャー
圧力IH 5.5合炊き
NP-ZB10-WA

D パナソニック
ファンケア
ドライヤー
EH-NA57
(ピンクゴールド)

E タイソン
ハンディクリーナー
BC34

F フジ産業
マジックシート + ホットリフレ
K9ターフ
(レッドブラック)

G ホクレンタタロギット
セレクトウォーク
(10,000円分)
+
JCB高品質券
(16,000円相当)

軽トラック
新車ご購入の方は
**スタッドレスタイヤ
4本(ホイール付き)も選べます!**

さらに!
**ホクレン
エンジンオイル
プレゼント!**

エコカーに最適!

お気軽にお見積・ご相談ください!

JAグループで **価格が安い!**
車を買えば
オトク!!

JAグループでは、年間約3,000台の新車を販売しております。その実績に基づき、各メーカーと交渉することにより、特別条件での新車販売が可能です。



安心のアフターサービス!

点検はもちろん、車検や修理といったアフターサービスも、JA機械センター・購入店で受けられます。何かございましたら、お気軽にご相談ください。



カップル訪問

平成 20 年
4 月 6 日入籍

最上 田上牧場

たかし ジュンエン
田上 貴志さん (48歳)・汪俊燕さん (39歳) 遼寧省出身

みのる ひかる
穂くん (7歳)・輝くん (5歳)



「この人だ」と思ったら後には引けない、中国の親に結婚を認めてもらうために渡航。その熱意は両親に伝わり結婚を認めてくれました。この行動があり、今のにぎやかな家庭につながっています。

● 出会いは

貴志さん、10年前私の牧場に中国からの研修生として入ってきた。汪俊燕さん、1年間研修生として田上牧場で働きました。その時貴志さんがとても親切に仕事を教えてくれ、色々とお世話してくれました。

● 初対面の印象は

汪俊燕さん、体が大きくて、顔はぶよぶよみたいな感じ(笑)、貴志さんは言葉が少ない人ですがとてもやさしい人でした。貴志さん、やさしくて、一生懸命に働く姿に心奪われてしまいました。

● 結婚の決意は

貴志さん、1年の研修はあっという間に終わり、汪俊燕さんは帰国しました。しかし、お互いに引かれるものがあり、一年後、私が中国遼寧省の汪俊燕さんに会うため渡航しました。そこで両親とお会いし、結婚をお願いしました。汪俊燕さん、私は「酒・タバコが大嫌い」です。貴志さんはどちらもやらない人で私の理想の方でした。

● 日本の生活はなれましたか

汪俊燕さん、私は料理が苦手ですが、貴志さんが私の好きなものを手伝って作ってくれます。とても助かっています。

● 楽しみにしていることは

汪俊燕さん、秋にはサンマ釣り、冬になると網走ワカサギ釣りに出かけます。子供たちも楽しみにしています。

● 将来の夢

汪俊燕さん、敷地が広いので家の周りを花でいっぱいにして、自家製のソフトクリームを作って販売出来たらいいなと夢んでいます。



尾崎 豊さん (34歳) 妻子あり

職 場 (有) だいち [TMR]

出身地 北見市・北見商業高校卒

趣 味 カラオケ

抱 負 前職は佐川急便で10年間勤務しました。津別町には何度も仕事で来ており土地勘はあります。ここを最後の職場と思い正職員を目指して頑張りたいと思います。組合員の皆さん宜しくお願いします。

名和 直樹さん (41歳) 独身

職 場 (有) だいち [堆肥センター]

出身地 美幌町・美幌高校卒

趣 味 野球、サッカー、スポーツ観戦

抱 負 自衛隊を退職し、この度(有)だいちに勤務となりました。

新しい環境の中で一日も早く仕事を覚え、組合員の皆様に声を掛けて頂けるように一生懸命頑張りたいと思います。



岩川 知樹さん (32歳) 独身

職 場 経済部生産資材課

出身地 札幌市酪農学園大学卒業

趣 味 読書

抱 負 JAに来る前は飼糧会社に勤務していました。飼糧に関する事は多少自信があります。初めての職場で、幅広い資材を扱い慣れるまで時間かかると思いますが、組合員の皆様宜しくお願い致します。

新入職員紹介
よろしくお願ひします！





2月の主な行事



2月10日	水		26日	金	カルビー懇談会
11日	木	建国記念日	27日	土	
12日	金	企画会議	28日	日	
13日	土	閉所	29日	月	
14日	日		3月1日	火	経営会議
15日	月	理事会 地区別組合長会	2日	水	地区懇談会～3日
16日	火	自治監査～19日 地区別組合長会議 年金友の会総会～18日	3日	木	
17日	水	玉葱振興会総会	4日	金	営農組合長会議 農産関連組織合同総会
18日	木	企画会議	5日	土	
19日	金	監査講評	6日	日	
20日	土		7日	月	内部審査 育苗センター稼働 職員全体会議
21日	日		8日	火	
22日	月	総務委員会	9日	水	企画会議
23日	火		10日	木	
24日	水	理事会	11日	金	
25日	木		12日	土	



(左) 松木憲賀さん (中央) 小林正弘さん (右) 細川幹生さん

平成28年度 営農組合連絡会議総会役員決定

営農組合連絡会総会が2月4日JA会議室で開催され、12営農組合からなる組織の代表者が選出されました。

会長 小林 正弘 (第11営農組合)

副会長 松木 憲賀 (第1営農組合)

副会長 細川 幹生 (第7営農組合)

(敬称略)

地区名	組合名	28年度営農組合長	区域
第1地区	第1営農組合	副会長：松木 憲賀 北野 淳志 工藤 雅史 高田 博幸	津別町字東岡の区域
	第2営農組合		津別町字活汲の区域
	第3営農組合		津別町字岩富の区域
	第4営農組合		津別町字東達美、達美、最上の区域
第2地区	第5営農組合	副会長：細川 幹生 西村 格	津別町字豊永の区域
	第6営農組合		津別町字美都、上里の区域
	第7営農組合		津別町字高台の区域
	第8営農組合		津別町字共和の区域
第3地区	第9営農組合	会長：小林 正弘 金子 知央	津別町字恩根、栄の区域
	第10営農組合		津別町字大昭の区域
	第11営農組合		津別町字布川、相生の区域
	第12営農組合		津別町字双葉、沼沢、本岐、木樋、二又の区域

発行 津別町農業協同組合 〒092-0231 北海道網走郡津別町字大通33番地
☎0152-76-3322 FAX 0152-76-3594 貯金共済直通電話 0152-77-3170
印刷 有限会社 サンケイプリント社

JAつべつ

検索

<http://www.jatsubetsu.or.jp>